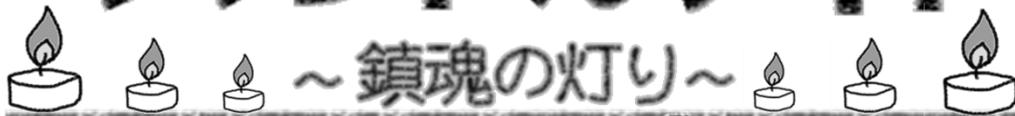


2017 「3.11東日本大震災追悼イベント」

FUDAI

キャンドルナイト



～鎮魂の灯り～

と き:2017年3月11日(土)
午後5時～

と ころ:ふだいえきまえ

「復興ふれあい広場」

16:45～ キャンドル点灯

17:00～ 点灯式

17:15～ バルーンリリース

みんなで希望の光をともしましょう

3.11を忘れない...

防災映画上映会

会 場:役場3階 大会議室

上映時間:第1話 備える(普代村) 15:30～16:00
第2話 学 ぶ(釜石市) 16:00～16:30



未来に向けて
～防災を考える～

アニメーション映画

〈協力〉
岩手県/宮古市/釜石市/大船渡市/陸前高田市/
山田町/普代村

―【お問い合わせ先】―

3.11東日本大震災追悼イベント実行委員会
(普代村役場総務課内)

〒028-8392 下閉伊郡普代村9-13-2
TEL:0194-35-2111 (事務局:坂下・坂上)

お誘いあわせの上ご来場ください!

普代中学校の生徒が

キャンドルアートをデザインしました。

テーマ

「3.11を忘れない想い、希望に輝く普代の未来へ」

温かい飲み物などを準備して
お待ちしております

甘酒・スープ



ふだい

おでん



※点灯にご協力いただける方はチャッカマンをご持参ください。

【ストーリー】

2011年3月11日、東日本大震災により東北地方を中心に大きな被害が出ました。その中で津波による被害から多くの命を守った二つの地域がありました。

一つは普代村です。普代村では高さ15mを超える防潮堤と水門が津波から村を守ったのです。防潮堤建設の計画段階では「万里の長城」と呼ばれた宮古市田老地区の防潮堤(高さ10m)を大きく上回る規模に反対する声もありました。しかし当時の和村幸得村長は「明治に15mの大津波が来た」という言い伝えにこだわり「高さ15m以上」を主張し続けたのです。こうして1967年に高さ15.5m全長155mの太田名部防潮堤が、1984年に高さ15.5m全長205mの普代水門がそれぞれ完成し津波から村人の命を守ったのです。

もう一つは岩手県釜石市の鵜住居地区です。大槌湾に面したこの地域は津波により壊滅状態になりましたが小学校と中学校にいた児童、生徒は全員無事でした。これは釜石市教育委員会と現場の教師たちが取り組んできた防災教育の成果だったのです。

自然災害を無くすことは出来ません。「過去の災害や経験から学び防災設備を整備する事」「常日頃から避難訓練や避難方法を考え災害に対して準備をする事」

「未来に向けて～防災を考える～」はこの二つの重要性を描き、防災に対する意識を日本の未来を作る若い世代が自分たちの問題として考えられるアニメーション映画です。

〈アニメーション制作・著作〉

虫プロダクション株式会社

〈製作・著作〉

一般社団法人東北地域づくり協会

